


1987. 4. 30 発行

(郵便振替)小樽1-570 加入者 あいらび

No.99 通信担当 谷百合子  
あいらび 連絡先 相田 英理子  
Tel 644-2927

今月のなみ

例会報告...1.2	選挙体験記...4.5
ピースポット参加記...6.7	情報あいらび...8
全統一の複上...3.4 に際して	



### あいらび通信についてのお断わり

この通信は、寄せられた「17」に関する情報・意見とのせりもの。投稿が  
あいらびページの都合で、すぐその月の通信にのらないこともありますが、原則として  
のせます。また、この通信にのっている情報・意見は、著者の「その人なりの17」  
に関するものであって、あいらび隊がある特定の考え方や「ニルガリ7」に  
主張しているものではありません。したがって、内容に疑問・意見がある人は、誌上討論  
または直接著者本人に連絡をお願いします。読者の積極的な参加で、いっそう充実  
した紙面になることを期待します。 <書けぬ方、書きたぬ方、ぜひお願ひしよう!>



# 女をもと政治の場、4月報告

今回、行われた統一地方選に、7人の  
女性候補者も入って、生活クラブ生協  
の会員である岡本新喜子さんに、レポ  
ートしてもらった。

数年前、合成洗剤廃止の直接請  
求にかかわり、市議会を傍聴したとき、議  
員たちのあつちの無知ぶり(当日の議題  
は、事前に知らされているはずなのに、石ケン  
と合成洗剤の違いすら知らない)に

おどろいた。又、マジモとほした聴集に何か  
って「傍聴させてやっているのにマジモとほすとは  
何事か」と怒鳴った。この時、私は、生協  
の視点のないものに政治は、扱てられないと思  
った。そう思った時から、生活クラブ生協は  
共同議入のネットワークを背景に「生活感覚を生  
かした政治」として、首都圏で29人の女性候  
補者を擁立した経過が話されて。

又、同クラブでは「カーズ」という経済的自立を

めがす組織もあって、議員になる、というのは最も適したワークスである。一部の新聞等に「主婦が遊に半分で政治の場に出るとは何事だ!」と言われはかりの声があった。主婦をかいふて、バカにして、男の地方議員の中にこそ、名譽職として、議員の名をよめるヤカラがいると思う。

次に、今回の選挙での取り組み(?)を参加者ひとりひとりが話した。

「市会議員には住環境(除雪等)をよくしてくれる人」という意見に対しては「そうい身近な(目先の)メリットがあっても、その人(又は党)が核廃棄物焼却誘置に賛成した(政策・国家秘密法に賛成した)らなければ、タクも仕事だと思ふ。」

「議会で候補者が何をしているか全くわからない。知ろうとしたら自分悪いのはわかるが、一応女性候補者に入れ」(…確かに議会で誰がどの様なことを話しているか、私達の日常生活には知らされてはいない。その意味でも、首都圏で初当選した女性の「私の仕事は、市議会の審議と市民に公開おしゃべり、というのは、まず仕事の大まかな一歩だと思ふ)「わからぬから一応女性に、という気持ちもわかるが、私に

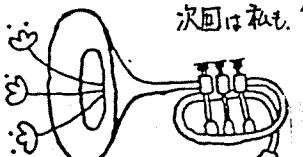
とて今のは最大の関心事は、焼却場誘致である。これまでの四年間、知事は少数与党やせよれんことが多かったと思ふ。少数与党であった政党も支持しないわけではないが、焼却誘置も白紙撤回させるため、少数与党に頼る。知党の人に一票を入れた」…等々、意見がよめまわす。

最後に、今回、会員の中で唯一、選挙運動に参加した谷さんは、その様子を話してくれた。(詳細は各人の報告にゆだねる)

候補は落選したが、とにかく楽しかった。金も組織(票)も全くないアキラの中で、支持者が、それぞれ選挙カーの中で、街頭で好まなび(やべり)あった。あり「女性の声も政治の場には」と叫んでおられた。石沢さん「女性ですか」とTELがあり「残念ながら男です。か、女性の声も十分尊重するべき」と答へ…etc

候補は落選したが、とにかく楽しかった。

今回は私も、自分の声代弁者として、積極的取り組みをした。(7/15ヨコ江)

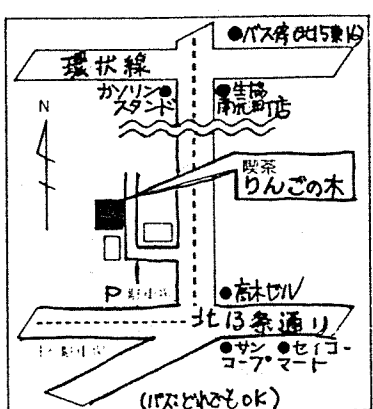


# 5月 女と男の間には暗くて深い川がある?

—— 結婚・家族ってなんだろう ——

女と男の関係のひとつの典型が結婚という形。けれど、結婚おとは、もはや「女と男の関係のあり方のひとつではないか!」

とは言えないもの。JとJとJとひきつけることはないでしょうか? JとJとJの中には、メリット、デメリットあるでしょう。例えは、ひとつ、そのEとEも洗い出してみたい!! 果に現われている結婚の真実とは? はたして、私達が望む女と男の関係はいつかあるのか? あるいは新進気鋭、若手筆頭、現在未婚の伊藤・後藤さんには、Thrillingな例えを(お話し)と思ひます。ぜひ、御参加!!



地下鉄北13条線市営バス7-111乗車・N15E16下車 (バス停は西口)

# あたらしい風を「全統一北海道地本」の旗上げ!

個人加盟の地域労組の産声を上げました。

花崎 昇平

Ｔさん、石沢としみ君の市議選挑戦ではご苦労さまでした。

御承知のように、票数は1206票と少なかったのですが、これは画期的な挑戦でした。なぜなら、社会党や共産党それに労働組合にたよらない市民運動派の市議挑戦は札幌市の歴史で初めてでしたから。

選挙運動に参加した人たちはみな、少ない票数にもかかわらず、口々に、やっばかったとさっぱり、さわやかにたね、あたらしい風が吹きはじめたのです。

懐疑、フェルノグイリ、国家秘密法と、このところ私たちのイニシアティブには目をみはるものがあります。そういふあたらしい風に加わるものとして、「全統一」労組北海道地本の旗上げを呼びさせてください。この労働組合は、中小零細自営業主をも特別組合員にし、個人加盟の地域労組としてスタートしました。

いま、労働者像はきわめて多様化しています。サービス労働者、パート労働者、氷遣労働者、氷遣労働者、主婦や学生や高齢者も、社会的にみれば、一種の

労働者ではないかと考えられています。

労働運動も、終身雇用で労使協調型の企業内労働組合がある会社だけに基盤を置くことはできなくなっています。したがって賃上げやその時間短縮や労働条件の交渉だけが労働組合の仕事ではなくなりつつあります。この社会全体の、ますますひどくなりつつある競争、競争の風潮を変えていかなければ、労働条件ひとつひとつみてもよくなりません。

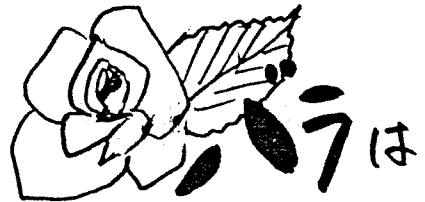


したがって、まず第一に社会運動としての労働運動という視野のもとで、労働を賃労働にかぎらずひろく「働くこと」としてとらえ、「働くこと」と「生きること」との関係のゆがみやねじれを正しく、労働運動を「全統一」は追求したいと思います。

第二に、文化運動としての労働運動という考え方をとりたいと思います。文化運動として、という意味は、なにも専門の芸術家の呼び屋をやろうというのではありません。それぞれの生活の日常

をおたがいにもっとひらかれたものにし、  
 関係をゆたかにしていく方向をめざそうと  
 いう意味です。「衆と餅に過客止まる  
 (老子)といひます。たのしやかな音楽とおい  
 しやかな食べ物の匂いがするところには  
 人が集まるという意味です。

私たちは「全統一」労組を、その意  
 味では「なんでもやれる」しなやかな組織  
 として育てていきたいと考えています。市民運  
 動やさらに地域の生活者にひらかれ、  
 支えられる地域労働運動をめざし  
 たいのです。どうかよろしくおねがいします。



うは  
 ちてしまたけれど

西区市議選挙で考えたこと

谷 百合子

友は選べるけれど、隣人は選べない。

そこに人間は一人では生きられ  
 ないから、違いの沢山ある人と...や

何を考えているのか判らぬ人たちと、何かと一緒にやらねばならぬのか、社会である  
 そこから民主主義をいじめ、制度の一つとして選挙があると思っている。

(か、私が出張して選挙は、単に選ぶだけであり、気持ちとしても遠いところ  
 にあった。ところが西区から石沢としみさんへ市議に立ってこられた。にわか  
 選挙へ身近なものとなって来た。立候補する本人も含めて、選挙に集まる人の  
 多数へ、「選挙はキライ」とか、「どうせ、セコクなめて」と言う人が沢山いて、  
 不安と同時に、面白いことになりそうな予感があった。

既成政党のバックなし。団体の支援なし。縛られることがない。金も  
 人員もなし。な、な、な、なか中で、誰か、誰か、なら、「私へやらなから」と各自へ  
 思い、そのうちに、これは石沢としみの選挙ではなくて、他ならぬ私自身のために  
 やっているかと思、はじめて来た。席へおぼろげに原石へ自ら力で輝きはじめたように。

どんな選挙をやったかと言うと、Let's talk とバックに静かに流し、  
 価値な連呼を(な、事と誓い、マイクを握った人は、各自、思ったことと言、良事に  
 ある日のIさん「見せかけの豊かさの中で、生活保護を受けられずに赤ちゃんと  
 残して餓死して行った白石区のお母さんへ、います。こんな冷たい後所の窓、いや  
 ですね。もって血の通った嫁か、かたに行きまはう」可、さす。「いいね、それ」  
 と声へ掛る。又、マイク二人で持ち漫コ、こ、証述を、「どうに図書館で夜用、  
 ないでしよう」暖、可、ね、「政党に依存した選挙で変、と思、ま、せん、?」  
 「今、名前を連呼するだけの選挙へ、か、行きました。有権者へバカにしていると思、ま、せん、?」

等々…。ついに川に向かって「魚さんこんにちわ」山に向かって「キツネさんこんにちわ」と言ったとか。最初はおすおすといくを振っていた人たちから。後半はすっかりフイバーして。候補者の存在を忘れ。ついに石沢さんへ「俺に野菜らせてくれ！」と叫ぶしやつ。最終日にあつ小田実氏が支援に来てダイナ前で。無所属革新はどたごい。市民所属に「たら」と言っていた。その後。なんとフツのあはさんであるこの私+気+ついたら。国家秘密法のこと。手箱山の自然のこと。フェミニズムのこと。地域文化のこととエペラペラと喋っていた。夜はダイナ前で。テーマソングであるLet's go と答で替え歌に「祭り」をやった。手作り楽器と私のシンセサイザー。ギターを弾く人。寒くて歯かガチガチ(こたけれど。皆の心の中にはさわやかな風が吹いていたし。熱い思いがたぎっていたと思う。こんなに柔らかなコートは初めて。リンと草場の影で喜んでいるに違いない。



今回の選挙で得たものは沢山あつ。その1つ。石沢とみさんのつれあひから。フェミニズムの思想を接して。彼女の

専らに頭を下げて又回るとはなかつた。この事選挙を終ってから聞いた。いい話だと思う。

考え方に共感したことである。以前。国家秘密法の女の集りで。革新系の候補者と共に持つ。法律家の女性から「主人と呼ぶことに抵抗ありません」と話していたことがあった。その時は問題意識が低いなと思ったし、同時に彼女の差別感も疑ってしまった。「主人」と呼びながらフェミニズム運動が出来るとは思えない。既成社会の父権主義に疑問を持たないのは。真の革新とは言えない。女と所有している男を容認し。そういう国の制度を変えようとする。革新政党内で。石沢とみさんは光っていた。選挙をやするのは私じゃない。支援はすすおす。私は他にやりたい運動があるし」と。候補者の



市民自治をめぐって

感性のいい男たちと会ったこと。話すまじ無駄と思える男が多い今日。選対で「タバコは止めろ」と言うとき。次の日から煙は消えていたし。「食器は各自で洗ってほしい」と言うとき即実行。又ある日。相変わらず男たちから「俺たちの組合は」とか「うちの労組では」と言っているのに「男は一担、企業から離れてみるべきよ！」と思わせられた。一瞬の沈黙もあり。「それはな。俺たち団員で組合頑張ってるだけ。何かしてくれなかつたもな」とと。彼の痛みが伝わって。私の心が軽くなった。石沢とみさんのあつとみさんへ深く頷いて下さったこと。印象に残っている。これからは石沢さんの言うように。労働運動と市民運動の歩み寄り。大切なのだと思う。

今みんな心にバウは咲いています。

# 「ピースボートでベラウとフィリピンへ

阿部ひろ江 No.1 (連載)



今年から私が拠点通信担当となり、各地の女たちの情報が知りやすくなった。(貸し出しますのでみなさん読んで下さい)その中で目新しく思えたのがここに転載させてもらう阿部さんのピースボート体験記である。どんな方かしらと想像をめぐりながら、もう友達気分です。—タカハシヨシエ

娘が田舎を満喫している間、私は念願のピースボートでベラウとフィリピンへ、とにかく東南アジアに行ってみたかた。

ベラウはグアムの西南に浮かぶ南太平洋の島。珊瑚礁の海は碧く、ヤシの華は繁り、島の人々の人情は厚く、明るい。この美しい島を過去30年間、日本が占領し島の人々に日の丸を掲げさせ、天皇の写真を拝させたとは、今はその影もないが、流暢な日本語で私たちを迎えてくれるおばちゃんの名前が「ハナコ」であったりする。そこにこの島の過去が凝縮されているようだ。

私が日本に帰ってからあと、勤め先の学校での日の丸問題が持ち上がった。どうしても校長が、体育大会で校門に日の丸を掲げるといふ。私たちは再三職員会議を開き、今回は校長に断念してもらった。ここで許してしまったら、日の丸、君が代が意落のごとく、押し寄せてくるにうがいなし、そうでなくても、有形無形の右傾化はすすめられていると思うか……。

次に訪れるフィリピンと違って、ベラウの人たちは私たち日本人にとっても好意的だ。現在も、あくどい日本の企業の進出に文字通りいためがけ続けているフィリピンとはちがって、ベラウの人たちはまだまだ慕<sup>おんがり</sup>らしているようだ。とはいえ、ベラウの収入の1つである観光面での日本の進出は著しい。東急ホテルの人工ビーチには、わざわざ別の所から砂を運んできたそうである。そんなことをしなくても、ベラウにはあふれるほどの自然があるのに。これが日本のやり方なのだろうか。

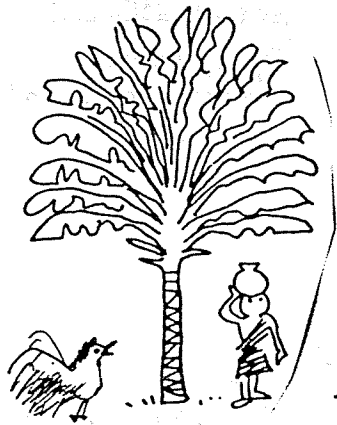
私たちは世界まで、スペインやポルトガルの探検家たちを、新大陸や島を発見した英雄のように習った。しかし原住民の人たちにとって、彼らはまさに侵略者であり、征服



者であるのだ。私たちが学んだ歴史の逆の視点が  
必要なだろう。

ベラウでは何かにつけて女の人たちが前面に出てくる。  
フィリピンでもそうだった。決して物質的に豊かではない  
暮らしの中こそ、せも男も共に肩をよせ合って生き生きと暮らして  
いのように思う。

世界初の非核憲法を作り、アメリカとの自由連合協定に反対するため、  
繰り返し話し合いを持ったという集会場、アバイで、私たちが迎え話をすすめて  
いてくれるのもおばちゃん達。男たちは影のように私たちにヤシの束のジュースを  
運んできてくれる。それがちっとも不自然ではない。この集会場も女の人たちの  
力で建てたそう。普段、男たちは外へ仕事に、女  
の人たちは家の中のことをしているのだが、日本とはまた違った  
意味での役割分担ができているようだ。



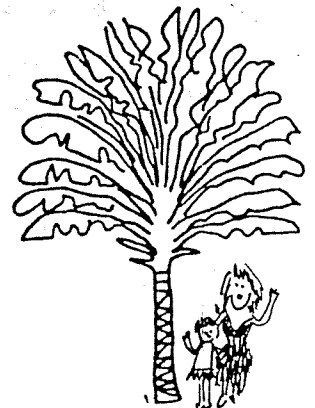
ベラウは形としては嫁取り婚になっているのだが、母  
系制が残っていて、嫁ぎ先の子供の方が、実家の男の  
兄弟の子より位が上がるのだそうである。夜、私たちの船に上  
り込んできたベラウのおばちゃんたちが、生き生きと自分の離  
婚歴を語るのには、圧倒される思いがした。実に、その  
場に居合わせたおばちゃんたちのほとんどが離婚歴を持っている。この男はダメ  
とわかると、たたくも何人もの子どもを連れて次の男をみつけるのである。また、一  
族の中にお金持がいっぱい親戚中の面倒をみるようだ。

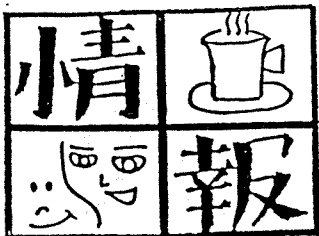
ベラウではおばちゃんたちがヤシの葉を何でも作ってしまう。先の集会場で  
私もカゴの作り方を教わり持ち帰った。言葉が通じないが教えたおばちゃんの  
目が忘れられない。

集会場を出た通りの近くに店があったので寄ってみたが、日本のお菓子やインスタ  
ラーメンが並んでいる光景は何とも言えない。

船がベラウを出航する前夜、島の子どもたちや若い女子、おばちゃんたちが  
踊りを披露してくれた。子どもたちの踊りは可愛いく、おばちゃん達の  
踊りはさすがに年季が入っている。いつまにか私も踊りの輪  
の中に入り、南国の夜は更けていった。

翌朝、船が港を離れる時、島の人たちは見送りにおまじ  
歌を唄い、続けた。たった二日の滞在なのに涙かきそう。  
いつまでも心に残る人たちは





# 絵はがきでさりげなく反核を訴える

札幌のプロカメラマン、平島邦生さんが、幌延の豊かな自然、  
 を写したネガースト 8枚1組の絵はがきを作製した。  
 「原発を、幌延をもとに考えよう」という狙い。(400円)

キマツネの親子、エゾエゴサクの花、チョウの交尾など、ほのぼのとした写真の裏には  
 「雨を汚したのは誰」「自・然・に・還・る」「アキラメルケ=ハイカナイ」「私は生きる！」  
 などの痛烈に心を打つメッセージが添えられている。

# 生きるために



ポロヌタブ



〈大いなる原野〉の片隅から

申し込み・問い合わせ：北区北14西4.

「キッチンぽろぬ草」tel. 747-7317



- 日程 5月7日午後6時 砂田明一人芝居 (大谷会館)
- 8日 " 映画「水俣一患者さんとその世界」(教育文化会館)
- 9日 " 映画「水俣病一その30年」原田正純氏講演会 (クリスチャンセンター)
- 6月8日午後6時 松橋勇蔵一人芝居 (大谷会館)
- 9日 " 映画「水俣病一その30年」、「海盗り」(教育文化会館)
- 10日 " 映画「不知火海」(教育文化会館)
- 6月28日午後1時 映画「水俣病一その30年」、「水俣の甘夏」(教育文化会館)
- 午後3時30分 映画「医学としての水俣病一三部作一」(教育文化会館)
- 30日午後6時 映画「原発切抜帖」、「水俣の囃・物語」(市民会館)
- 7月1日 " パネルディスカッション (市民会館)
- 2日 " 映画「公害原論」、「水俣一揆」(市民会館)

## MINAMATA 30

資料展	6月中に、中央区民センターで開催の予定。			
価 格	通し券(一般)	2,800円	通し券(高校・大学生)	1,500円
	当日(1日分)	映画・講演	一 般	700円
			高 校・大 学 生	400円
		芝 居	一 般	1,500円
			高 校・大 学 生	800円

※中学生以下はすべて無料です。

会場住所 大谷会館 南3西1 教育文化会館 北1西13  
 クリスチャンセンター 北7西6 市民会館 北1西1  
 連絡先 栃内邦子(札幌市南3西6 狸小路市場内「いぶくろ公園」tel.011-222-2480)

私達の暮らしから

## 『水俣の30年』

を見つめる

あ  
ま  
い  
し  
の

ローター・ブルック演出の「カルメンの悲劇」を観た。「石器に名乗」とはこの北の豪情い  
 歌声のさるさるから演技・解釈の深さに絶句。楳栗の「カルメン」は受動的な愛のオペラ  
 ジョア中心の家庭組の前で敗北したとは違う。カルメンにとって男とは何だったのだろう。夫・掃  
 蕪の家族形態の揺るぶりに、キリスト教社会に対する異文化の貫き、ホセの故郷・村落共同体  
 に片足を残してきている中途半端なほみ出し者など相手にせず。「カルメンは譲らないま  
 自由に生まれた。自由のまま死ぬの」と歌って殺される。私は十字架の上のキリストに見えた。

タニ・ユリコ